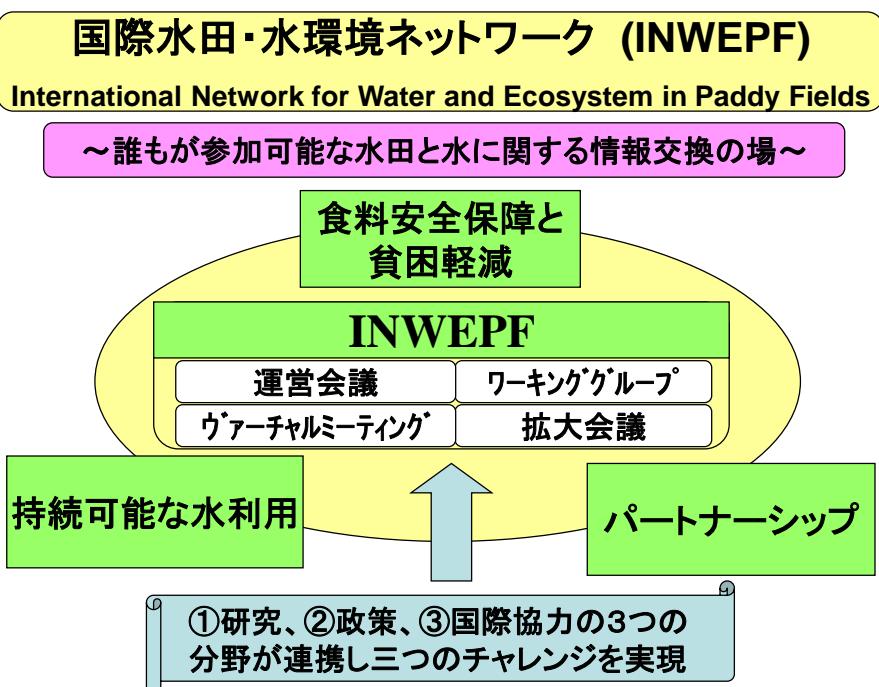


## 国際水田・水環境ネットワーク (INWEFP)について

### 1 背 景

- ・第3回世界水フォーラム（2003年3月京都）の一環として、「水と食と農」大臣会議を開催。「食料安全保障と貧困軽減」、「持続可能な水利用」、「パートナーシップ」の3つのチャレンジに基づく大臣勧告文を採択。
- ・これを受け、我が国（農林水産省）はアジア・モンスーン地域におけるネットワークの構築を目指して、「国際水田・水環境ネットワーク」(INWEFP)を提案し、我が国主導で創設（2004年11月東京）。



### 2 メンバー国、国際機関等

メンバー国：韓国、日本、中国、マレーシア、カンボジア、スリランカ、ネパール、タイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、ラオス、バングラディシュ、エジプト、インド、パキスタン（17カ国）

国際機関等：IWMI（国際水管理研究所）、IRRI（国際稲作研究所）、WB（世界銀行）、INPIM（参加型水管理国際ネットワーク）、FAO（国連食糧農業機関）、MRC（メコン河委員会）、ICID（国際かんがい排水委員会）、PAWEES（国際水田・水環境工学会）（8機関）

※特定の事務局は設けず、メンバー国が運営会議を持ち回りで実施。

### 3. INWEPF の優先テーマ

INWEPF が取り組むべき三つのチャレンジ（2003 年 WWF3 大臣会議勧告文）」を実現化するために INWEPF は、第 2 回運営会議（2005）で、次の四つの優先テーマを定めた。

優先テーマ 1. 社会的、文化的及び経済的観点を踏まえ、貧困軽減と食料安全保障に資する効率的かつ持続可能な水利用の検討

優先テーマ 2. 水田の多面的利用と生態系保全機能

優先テーマ 3. 参加型水管理及び能力開発を含む水田の持続的な水管理の改善を図る良好なガバナンスの構築

優先テーマ 4. 政策の作成、決定、プロジェクトの運営（計画、実施、運用、管理）に対する農家や関係者の参加

### 4. フェーズ 3（2012 年 11 月～2015 年 3 月）の戦略方針

INWEPF は、優先四テーマ達成するために、活動期間と期間における戦略を立て、その活動を行う。

2012 年 11 月から 2015 年 3 月韓国テグ市開催の WWF7 までの期間をフェーズ 3 とする。

フェーズ 3 の戦略は、（1）フェーズ 2（2009 年 11 月～2012 年 3 月 WWF6）の活動目標「持続可能な水田農業の促進」を継承し、（2）情報発信や国際機関との連携において、更なる強化と拡大を目指す。

### 5. ワーキンググループ（WG）

INWEPF は、第 3 回運営会議（2006 年）において WG の設置を決定し、第 6 回運営会議（2009 年）において現在の WG は次のとおり設置。

WG 1：水田の多面的機能に関するグループ（担当国：マレーシア）

WG 2：ビジョン、政策、INWEPF の活動に関するグループ（担当国：韓国）

WG 3 持続可能な水田農業のための国際的な協力と連携に関するグループ  
(担当国：日本)